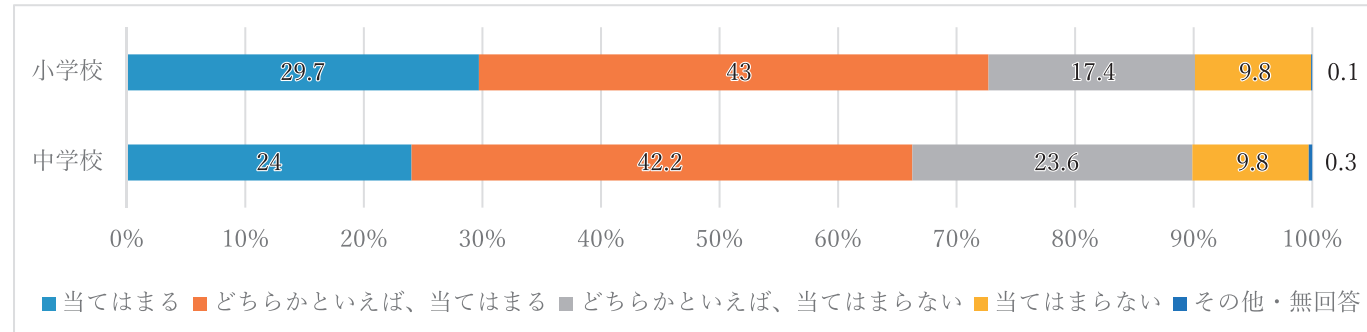


全国学力・学習状況調査 質問紙より

対象：小学校6年生

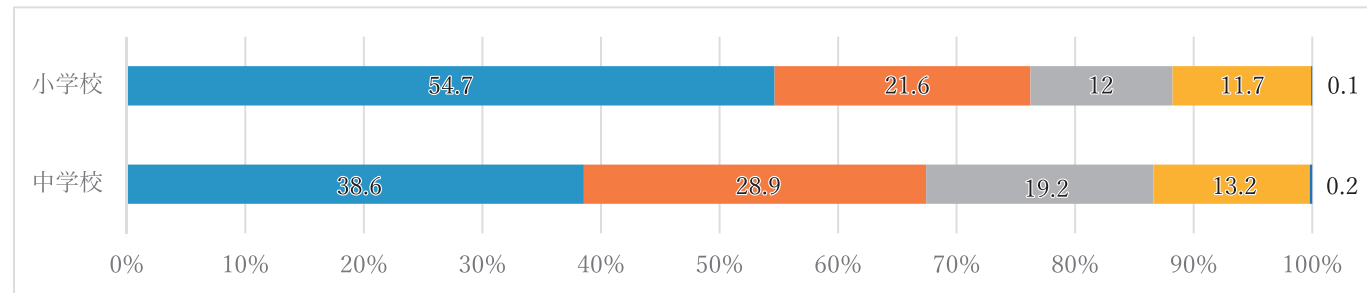
中学校3年生 R3実施

Q 自分には、よいところがあると思いますか。

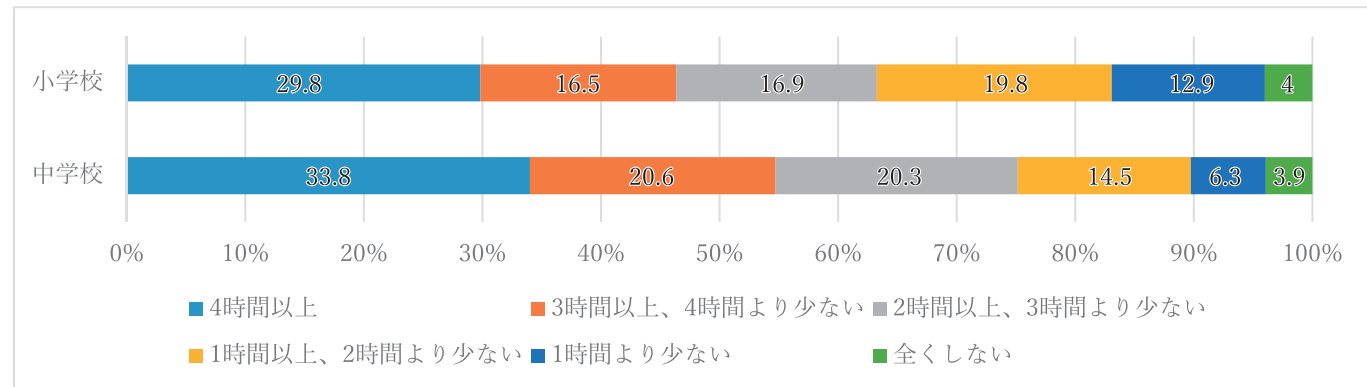


Q 将来の夢や目標をもっていますか。

※凡例は上段と同一です。



Q 普段（月曜から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。



「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標がある」という質問に対して肯定的な回答をした児童生徒の割合は、どちらも約70%程度でした。今後も家庭と連携し、自尊感情を向上させる取組みを行ってまいります。各ご家庭におかれましても、「よいところ」、「将来の夢・目標」について話題にあげていただきたいと思います。また、「普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか」という問いに対して、「2時間以上」と回答した児童生徒の割合が、小学校では約63%、中学校では約75%でした。これは全国と比べても、非常に高い数値です。今一度、スマートフォンやゲームとの付き合い方について、家庭でルールを決めたり、お子様と話し合ったりしていただきたいと思います。

子育てや学校生活などの悩みがあれば、ご相談ください。

【岸和田市教育相談室】
【子ども相談ダイヤル（児童生徒専用）】

TEL 072-426-1035 受付時間 月～金 9:00～17:00
TEL 072-426-1052 受付時間 月～金 9:00～17:00
E-mail kodomo-net@center.kishiwada.ed.jp

【岸和田市教育委員会 学校教育課】
【すこやか教育相談（大阪府）】

TEL 072-423-9683 受付時間 月～金 9:00～17:30
TEL 0120-0-78310 受付時間 24時間対応

令和4年度 岸和田市学力向上リーフレット

岸和田の子どもたちに 確かな学力を!

このリーフレットは、岸和田市内の各学校で、どのようなことを大切にして授業を行っているか、また、各校での「成長を促す指導」により、子どもたちの自尊感情や自己有用感をどのように高めようとしているか等、そのポイントをまとめ、学校と家庭で共有するために作成したものです。

学校生活の主役は、言うまでもなく子どもたちです。教員は子どもたちの支援者として子どもたち一人一人の確かな学びと、健全な成長のために、よりよい教育活動を追い求め、実践しています。そんな学校の取組みとご家庭での温かい言葉かけや見守りが、未来にはばたこうとする子どもたちのエネルギーになるものと考えています。学校と家庭がともに手をたずさえ、未来の岸和田市を担う人づくりを、共に考えることができればと願っています。

令和4年4月
岸和田市教育委員会



～落ち着いて学習に向かうために～

☐ 学びの土台づくりに取り組んでいます。

子どもたちに確かな学力を育むためには、集中して学習に取り組む姿勢や、話をしっかり聞く、見たことを書き写すといった、学習するにあたって身に付けてほしいことがさまざまあります。それらを岸和田市では「学びの土台」ととらえ、各校でコグトレや朝読書、立腰、ビジョントレーニング、ソーシャルスキルトレーニング等、さまざまな取り組みを行っています。



☐ 授業のルール（授業スタンダード）を作成しています。

それぞれの学級・学年で、あるいは学校全体で、授業中のルール（話し方、聞き方、ノート書き方等）を決めています。

～主体的・対話的で深い学びをめざして～

☐ 見通し

この時間に何ができるようになればいいか、「めあて」を示し、子どもたちがこの授業で学ぶことを明確化しています。めあては授業の最後に振り返ることができるものになっています。



□ 主発問（課題の焦点化）

その時間の「めあて」の達成に向けて、子どもたちがじっくり考えるような「主発問」を大切にしています。話し合いながら考えを深められるように、多様な考えが出そうなものや、みんなで考えないと解決できないような「主発問」になるよう工夫しています。



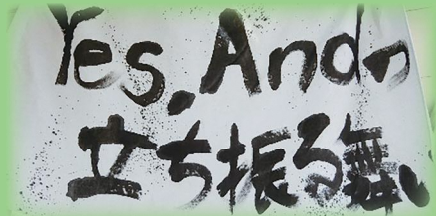
□ 個人⇒ペア・グループ⇒全体⇒個人

まずは個人でじっくり考え、考えたことを書かせる活動を随所に取り入れています。また、必要に応じて、一人一人の考えをペアやグループで共有しています。さらに、ペアやグループで共有した内容を、クラス全体で共有します。最後は個人で考えをまとめ、学習を振り返ります。



- ☐ スモールステップを大切にしています。

課題をスモールステップ化し、場合によっては個別課題や個別支援を取り入れ、子どもたちの「できた！」を大切にしています。

☐ まとめ・振り返り

毎時間の授業で振り返りを行っています。できたこと、わかったこと、またはできなかったこと、わからなかったこと、新たな疑問、次の時間に学びたいことなどを、振り返られるようにしています。

児童生徒の「成長を促す指導」の充実

自尊感情・自己有用感 ～自分を認め、他を認める雰囲気醸成～

自尊感情とは「自己に対して肯定的な評価を抱えている状態」のことで、自己有用感とは、「人の役に立った、人から感謝された、人から認められたという自己に対する肯定的な感情」のことです。各小中学校では、授業中はもちろんのこと、さまざまな学校行事、児童会・生徒会活動、部活動など、学校教育活動のあらゆる場面を通して、自尊感情・自己有用感を高める取組みを行っており、それらを「成長を促す指導」として大切にしています。以下に市内での取組みの一部と、家庭で自尊感情・自己有用感を育むポイントを掲載していますので、ご家庭でお子様と関わる際の参考にいただければ幸いです。



□ 随所で認める場面を

全体や一人一人に対して、「認める・励ます」場面を多く設けています。

☐ 子どもたちのよい行動を引き出せるようにしています。

子どもたちのよい行動を見逃さないように、そして、さらに望ましい姿が見られるように具体的な場面を取り上げながら認める声かけをしています。それが、学ぶ姿勢に好影響を与え、学習意欲を高められるよう工夫しています。



- ☐ 各家庭でのスキンシップや会話を心がけましょう。
- ☐ 子どもたちに「認める」「励ます」言葉をたくさんかけましょう。
- ☐ 「ありがとう。」「あなたのおかげだよ。」感謝を伝える言葉を使いましょう。
- ☐ 共同体験・共同作業など、誰かと何かをする体験に取り組みましょう。